

前回の振り返り【ワーク】

1, 企業の基本的な3つの活動とは何だったでしょうか？

利益を上げる活動 → 営業キャッシュフロー
↑
投資する活動 → 投資キャッシュフロー
↑
お金を集める活動 → 財務キャッシュフロー

2, 基本的な3つの活動は貸借対照表及び損益計算書のどの部分に該当しましたでしょうか？

利益を上げる活動 → 損益計算書

投資する活動 → 貸借対照表の資産の部

お金を集める活動 → 貸借対照表の負債の部+淳飛さんの部

3, キャッシュフロー計算書の3つの要素とは何だったでしょうか？

営業キャッシュフロー

投資キャッシュフロー

財務キャッシュフロー

財務3表をどう使って決算書を読むのか【ワーク】

1, 決算書を理解していただく上で重要となる3つは何だったでしょうか？

- ・細部ではなく全体をつかむ
- ・数字ではなくイメージをつかむ
- ・反復練習をして理解を深める

2, コスト感覚が身につく損益計算書の見方とは何でしょうか？

損益計算書を下からよむクセを身につける

具体的には、当期純利益はいくらだったのか？

税引き前当期純利益はいくらだったのか？ と下から見ていくこと

3, 貸借対照表の基本的な記載方法は何だったでしょうか？

流動化されやすいものから順に上から下へ並んでいる

キャッシュフロー計算書は会社の家計簿【ワーク】

1, キャッシュフロー計算の3つの要素はそれぞれどのような動きを表していたでしょうか？

財務キャッシュフロー　どうやってお金を集めたか

投資キャッシュフロー　何に投資をしたか

営業キャッシュフロー　どのように利益をあげているか

2, キャッシュフロー・マネジメントの一連の流れは何だったでしょうか？

現金の流れのマネジメントのことを指します

自己資本なのか他人資本にて調達し、資産を取得する

その資産をうまく活用して売上をつくり、利益に変えていきます

この一連の流れの最終的な目的に現金がある

事業全体で利益を出すことはとても重要ではあるものの

事業活動の一部でしかない

一番大切なのはキャッシュのマネジメントであることを理解すること

キャッシュフロー計算書の見方【ワーク】

1, キャッシュフロー計算書は会社の何を知るために有効な資料だったでしょうか？

会社の家計簿であり、現金の流れを把握するために有効な資料

2, キャッシュフロー計算書の8つのパターンのうち、②のパターンはどのような会社でしょうか？
推測してみてください。

営業キャッシュフローが+ →利益を生んでいる

投資キャッシュフローが+ →投資をしていない

財務キャッシュフローが- →他人資本を増やさなくても自己資本だけでまわしている

すでに投資が終わっていて後は収益を増やしていける状態にある企業か
あるいは、業績がいいことにあぐらをかいて新しい事業に取り組んでいない状態